

火落菌用 SensiMedia 使用説明書

マイクロバイオ株式会社

1. 特徴

この SensiMedia は、火落菌の性状に基づいて、フィルター法か、原液試料を直接添加する方法のいずれかを使用できるようにしたものです。

- ① アルコール濃度 2 % 火落菌用 SensiMedia
- ② アルコール濃度 4 % 火落菌用 SensiMedia

2. 使用液体培地

MRS ブロスをベースに各種発育促進剤と抑制剤を添加したもので、火落菌の増殖に適したアルコール濃度に調整されています。

3. 検査法

3.1 フィルター法

アルコール濃度 4 % の火落菌用 SensiMedia を使用してください。フィルターを折りたたみ、SensiMedia に差し込んで 35℃ でインキュベートします。

3.2 原液試料添加法

アルコール濃度 2 % の火落菌用 SensiMedia を使用してください。SensiMedia には 20ml の液体培地が入っていますので、アルコール濃度が約 4 ~ 5 % 程度になるように試料を添加してください。35℃ でインキュベートします。

例 1) 試料のアルコール濃度が 15 % の場合

この試料を 1ml 添加すると、アルコール濃度が 5 % になります。

例 2) 試料のアルコール濃度が 10 % の場合

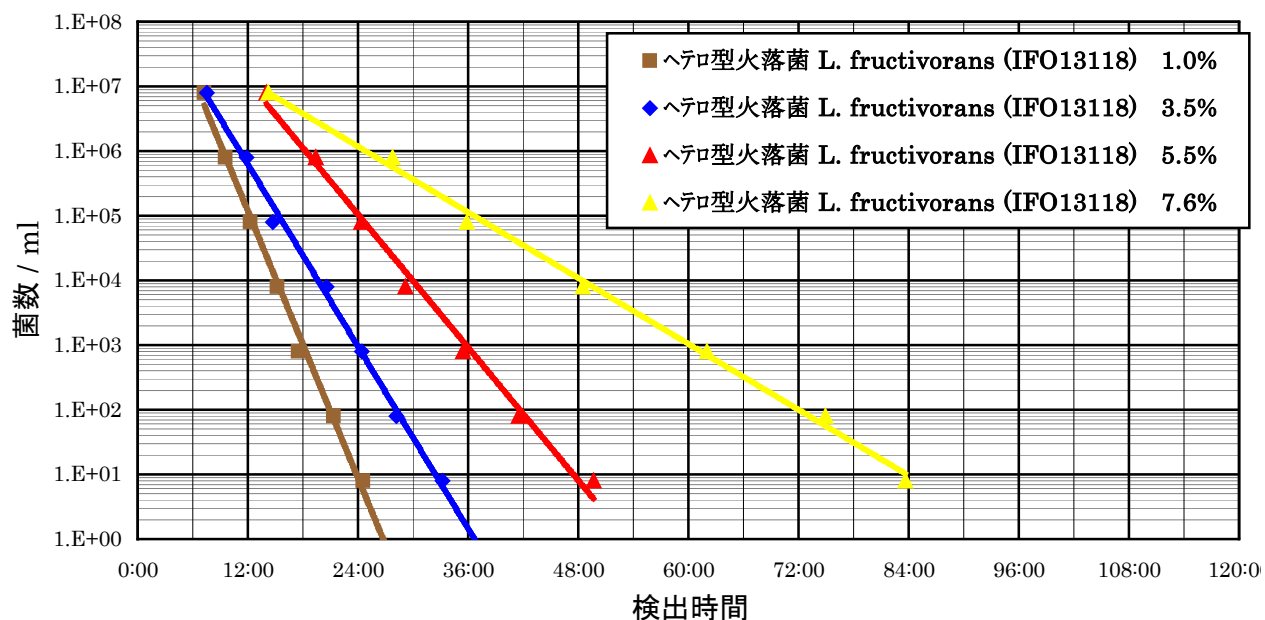
この試料を 1ml 添加すると、アルコール濃度が 4 % になります。

4. 判定基準

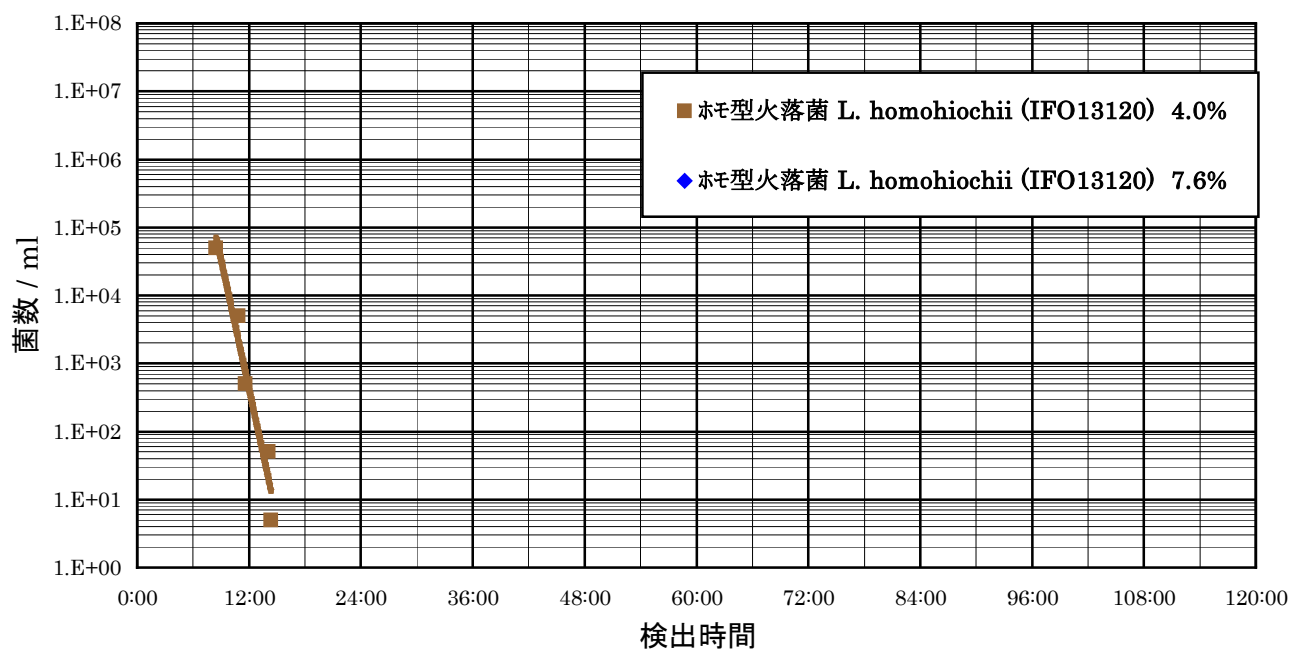
標準菌株による特性は次頁の図に示すとおりですので、試料及び危惧される菌を用い、これを参考にプロトコルを設定してご使用ください。火落菌が試料内に存在すればセンサーが黄色透明に反応します。センサーが青色のままであれば、火落菌は通常 陰性と判断できます。

注意) ホモ型火落菌を検出したい場合には、特に、液体培地内のアルコール濃度が 4% 以下になるように、試料を添加してください。培地と試料による液全体のアルコール濃度が 5% 程度以上になると菌の増殖が確認できなくなります。

ヘテロ型火落菌 SensiMedia
感度特性 [35℃培養]



ホモ型火落菌 SensiMedia
感度特性 [35℃培養]



火落菌用 アルコール7% SensiMedia
感度特性

